EA630GB－1（ケーブルプーラー）取扱説明書

（アメリカ）

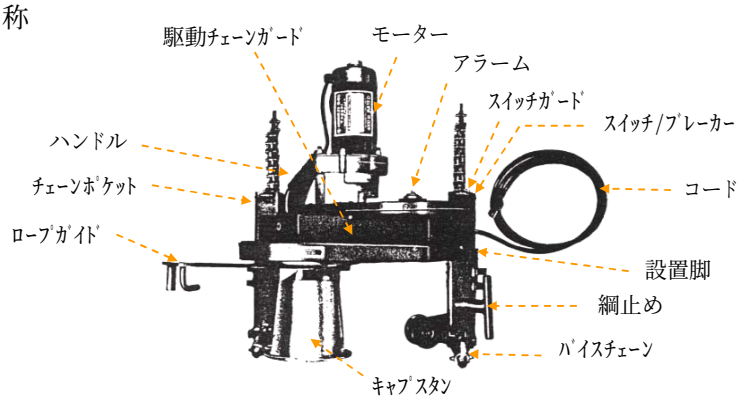
このたびは当商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。使用に際しましては取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

◆ 仕様

・常用荷重…11．1KN（1130kg）
・最大荷重…17．7KN（1800kg）
・スピード(無荷重)…10．5m／分
・スピード(900kg)…4．8m／分
・スピード(1800kg)…1．8m／分
・モーター…AC120V（1HP）
・サイズ…533（L）X533（W）X304（H）mm
・重量…31kg

・逆回転防止システム
・ガードされた駆動システム
・カバー付きスイッチ兼ブレーカー
・アースプラグ
・ロープのはみ出し防止メカニズム
・シーブにロープを引っかけて使用できます。安全です。
・負荷が1500kgを超えるとアラームでお知らせします。
・ケーブルへの負荷を軽減する先端のキャプスタン

◆ 各部名称



⚠ 注意

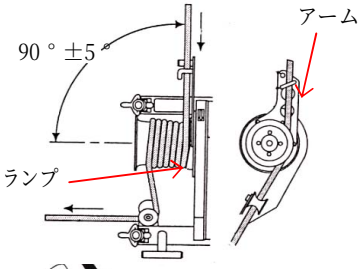
・使用前に取扱説明書を良くお読みください。
・マニュアルの安全規則と使用団体の安全規則に食い違いがある時厳しい方を優先してください。
・ケーブルプーラーのような電動工具を使用する時は、爆発・感電・ケガに充分注意してください。
・火花による火災、爆発を引き起こしそうな場所で使用しないでください。
・明るい場所で使用してください。
・プーラーのパーツは最大荷重に耐えられる物でなければなりません。
・引かれているロープの直線状に立たないでください。また、人を近づけないでください。
・使用前に各パーツを点検し、欠陥があるパーツは使用しないでください。
・据え付ける際はパッド、詰め物を使用しないでください。
・バイスチェーンは巻き付ける時はムラなくきつく締めてください。
・このツールはアース導線とアースプラグを備え付けていますが絶対に改造しないでください。
・誤った設置は危険です。表面が緑、または緑に黄色の縞の付いたものがアース線です。
・電気コード、プラグに異常を感じたら接続しないですぐに交換してください。
・屋外で使用する時は置く概要の延長コードを使用してください。
・機械の不調を感じたらすぐに使用を止めてください。
・回転するキャプスタンに触れないでください。巻き込まれる恐れがあります。
・キャプスタンが回転するとカチッと音がします。これが逆回転防止システムです。音が鳴らないようなら使用をやめてください。
・ロープの先をフックにかける事でケーブルの直線状に立つのを避ける事ができます。
・貴金属は外し、ぴったりした服、ヘルメット、ゴーグル、ダストマスクを着用してください。
・誤作動を防ぐためプラグを差し込む前にスイッチがOFFになっているのを確認してください。
・最大荷重に耐えうるロープを使用し使用前に状態を確認してください。使用中に切れると危険です。
・ロープに負荷をかけたまま放置しないでください。摩擦熱でロープが切れる恐れがあります。
・最高の性能を引き出すため常に清潔に保ってください。
・ハンドルにオイル、グリスがついたままにしないでください。
・改造・分解をしないでください。
・手などにロープを巻きつけると非常に危険なので注意してください。

◆ 使用方法

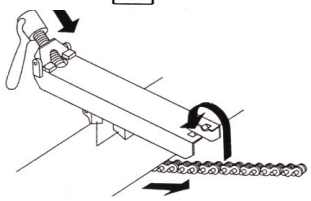
・ケーブルローラーの取付け

1. プーラーは3600kgの負荷に耐えられる場所に固定してください。
2. 図のようにロープとキャプスタンが90°になるように
   ロープを付けてください。
3. チェーンを穴に通し、スクリューのついていない側を反対側の
   口の開いた穴にピンが引っ掛かるようにはめてください。
   (ピンは絶対にフレームから外れないようにしてください。図)
4. チェーンをきつく締められるようにチェーンナットがスクリューの
   一番下になっていないか確認してください。また、直径25cm
   以下の物には設置しないでください。
5. チェーンハンドルを廻してチェーンをきつく締めてください。
   この時、工具は使用しないでください。
6. 毎回、使用ごとにチェーンと取付け台をチェックしてください。
   目に見える破損があるようなら使用しないでください。
7. できるだけプーラーから離れて作業してください。
8. チェーン以外の方法でプーラーを取付ける時でも、チェーンを
   使用する時と同じ力で固定してください。

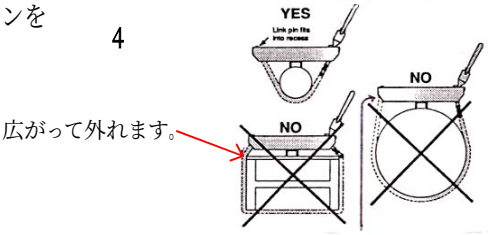
2



3



4



◆操作方法

1. 取付け方法に従ってプラーを取付けてください。ロープをキャプスタンの外側から内側に向かって
   巻かないでください。はみだし防止メカニズムが機能しなくなります。キャプスタンについたアーム、ランプは
   誤った巻取りを防ぐための物です。
2. 1800kgまでの荷重に使用できます。1130kgまで継続的に使用でき、それ以上は断続的仕様になり、
   モーターが熱を帯びますので充分に冷却して使用してください。1540kg以上での仕様ではアラームが
   鳴ります。これは最大荷重に近づいている事を意味し、荷重がかかりすぎるとブレーカーが働きプーラーを
   オフにします。
3. プーラーの後ろにあるスイッチはスイッチと駆動装置が破損する前にプーラーを静止させるブレーカーも
   兼ねています。もし、ブレーカーが作動したら負荷を減らしてからブレーカーを元に戻してください。
4. ロープをゆるめてキャプスタン上で滑らせる事で引く力とスピードを落とす事ができます。
   逆にロープを締めてキャプスタン上で固定すれば引く力とスピードを増す事ができます。
   キャプスタンにロープを多めに巻きつけておくと、力・スピードは増加しますが、コントロールしにくくなります。
   仕様途中で時々ロープをゆるめて負荷を減らす事をお勧めします。
5. ロープのはみだし防止メカニズムはキャプスタン上のランプとアームからなっています。
   ロープに負荷がない状態で作業を始める時、アームは後ろに回転しようとします。
   ロープを2～3回巻きつけて負荷を確認してから始動してください。手や足でアームが後ろに回るのを
   妨害しないでください。もしアームが下につくまで回転したら、作業を中断し、負荷をゆるめ、アームを引く
   方向に調整してください。アームは誤った巻き付きを補うものではありません。ロープとキャプスタンの角度が
   5°以上ずれていると、はみだし防止メカニズムを無効にし、アームを曲げてしまいます。作業前にアームが
   曲がっていないか確認し、ランプが擦り減っているなら交換する必要があります。
6. パワーダウンや駆動チェーンが破損した時のために逆回転防止システムがついています。
7. ロープ以外の物を使用しないでください。ワイヤーはキャプスタンを破損するので使用しないでください。
8. ロープの巻き具合を点検してください。
9. ケーブルクリップやクレビスを引張らないでください。もつれ、絡みはキャプスタンの破損の原因になります。
10. 巻き込まれる恐れがありますので回転中のキャプスタンからロープを解かないでください。
11. 何かトラブルがあれば、すぐにモーターを止めロープを綱止めに結び付けてください。
12. ロープの状態は常にチェックし異常があれば使用しないでください。

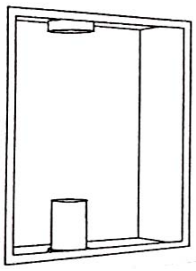
◆ 使用例

・イラストにより使用例を示していますので実際の使用例にしてください。

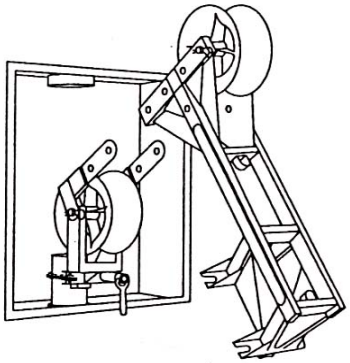
・ケーブルプーラーに接続している全ての部品は使用に見合う必要があります。

1. 隠れたコンジットからの引き上げ

隠れたコンジットからケーブルプーラーシステムで引き上げる

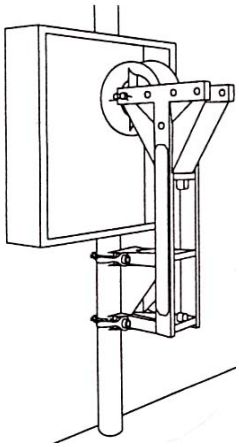


フレキシブルパイプアダプター（EA631GH-18）にパイプアダプターシーブを取付ける。

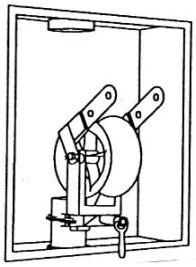


2. 外に出ているコンジットを通しての引き上げ

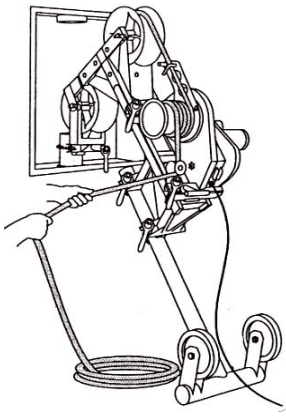
パイプアダプター（EA631GJ-18）を外に出ているコンジットに取付ける。



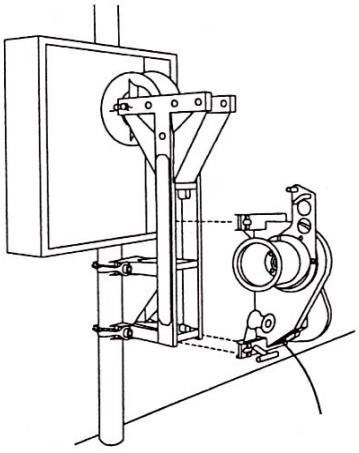
コンジットの端に延長ブッシングを付けパイプアダプターを取付ける。



Tブーム（EA631GH-18）にケーブルプーラーを取付け、下から引き上げる。

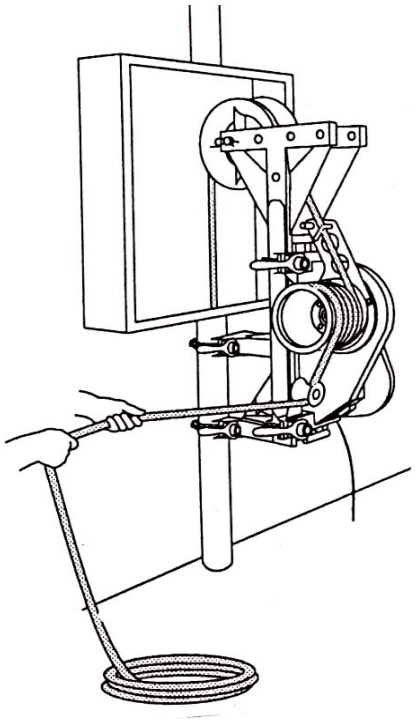


ケーブルプーラーをパイプアダプタ（EA631GJ-18）に取付ける。

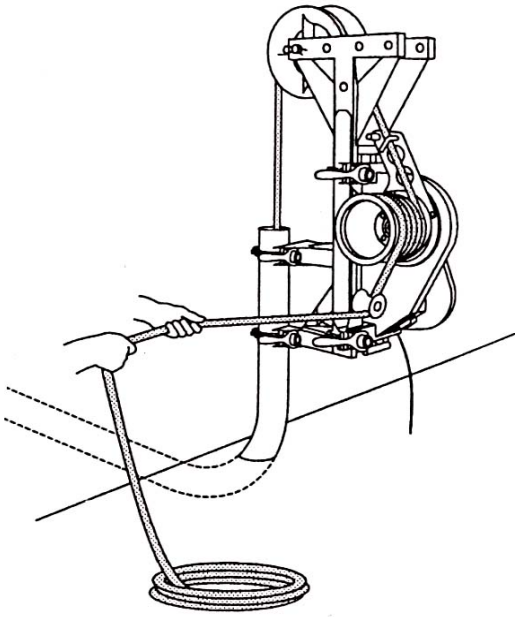


3. パイプの中からの引き上げ

外に出ているコンジットから引き上げる。

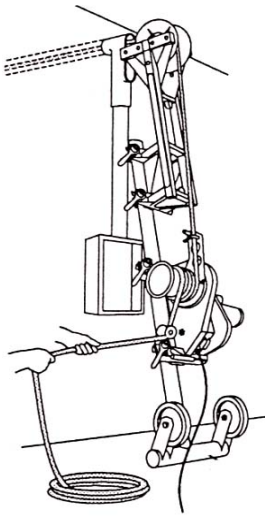


パイプアダプターシーブを使用して引き上げる。

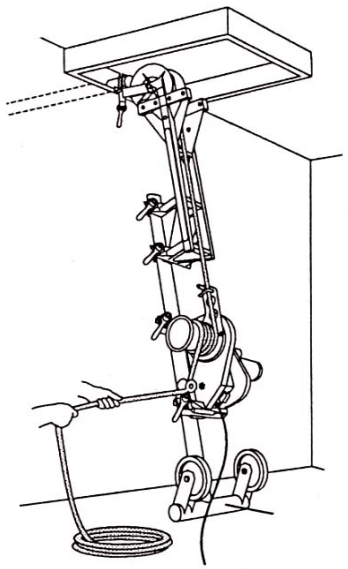


4. 外に出たコンジットを通しての引き下げ

Tブーム（EA631GH-18）にｼｰﾌﾞｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ(EA631GJ-18）を使用して平行に引く。

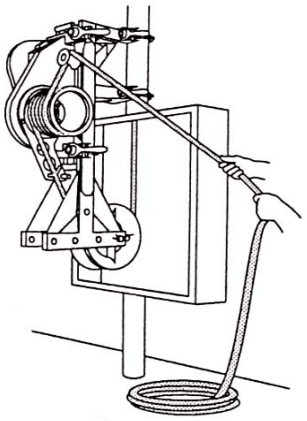


ｴｷｽﾃﾝｼｮﾝﾌﾞｰﾑｷｯﾄ（EA631GH-18）にｼｰﾌﾞｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ(EA631GJ-18）を使用して頭上より引張る。

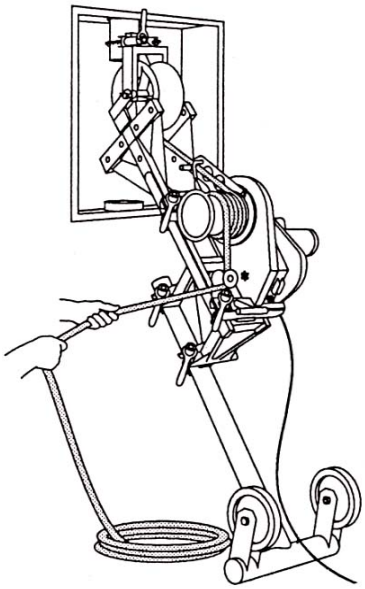


5. 隠れたコンジットを通して引き下げる。

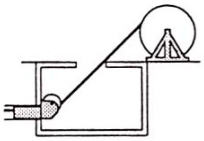
ｹｰﾌﾞﾙﾌﾟｰﾗｰとﾊﾟｲﾌﾟｱﾀﾞﾌﾟﾀｰｼｰﾌﾞ(EA631GJ-18)を使用して外に出ているコンジットを使用する。



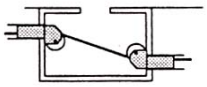
ｴｷｽﾃﾝｼｮﾝﾌﾞｰﾑｷｯﾄ(EA631GH-18)とｼｰﾌﾞｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ(EA631GJ-18)を使用して引く。



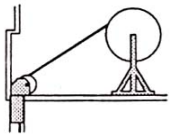
6. マンホールでの使用



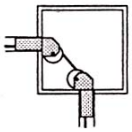
空のマンホール



空のマンホール

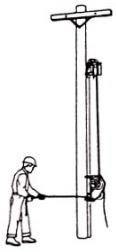


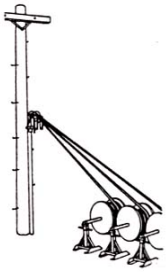
地上

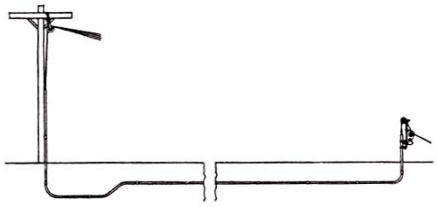


空のマンホール

7. パワーラインでの使用







パワーラインから引く

◆ メンテナンス

⚠ 分解、修理する前にモーターの電源を切りプラグを抜いてください。

A ドライブチェーンへの注油

２０時間の使用ごとにドライブチェーンに注油してください。キャプスタンアームを外し、コネジを外し、チェーンガイドを外してください。チェーンに80～90Wのギアオイルを注油してチェーンガイドを取付けコネジを締めてください。
中間にあるチェーンも同様にしてください。

B 実動作業40時間毎にチェーンの状態をチェックしてください。

1. キャプスタンアームを外しチェーンガイドを解体してください。接続リンク、ドライブチェーン、モーターを取付けプレートについているネジ(X4)を外してください。
2. チェーンを溶剤できれいにしてください。ストレートエッジに対し直角になるようにチェーンを横にしてください。
   チェーンの一方を後方に滑らせチェーンの伸びをチェックしてください。
   伸びが9.5mm異常ある時はチェーンを交換してください。
3. 80～90Wギアオイルでチェーンに注油してください。
4. 上記のＢ1の手順で組立ててください。

C ラチェット歯へのグリス給油

1．40時間使用毎に万能グリスをグリスフィッティングに用います。グリスフィッティングはキャプスタンの反対側のフレームの下部についています。（ラチェット音がはっきりしない時は次の手順に従ってください。）

・駆動スプロケットとチェーンをB1に従って外してください。
・ラチェット歯を外してください。
・作用表面全てに車軸グリスを塗布してください。その後再び組立ててください。
・再組立後、ラチェット歯が正しく機能しているかどうか確認してください。
・カチカチとラチェット音がすれば、歯がかみ合っている証拠です。もしラチェット音がはっきり聞こえない時はプーラーを使用しないでください。

E整流ブラシ

40時間使用毎にブラシをチェックしてください。モーターブラシキャップとブラシを抜いてください。
ブラシの長さを測り、9.5mm以下の時は両方のブラシを交換するか、交換以来で修理にだしてください。

Fケーブルクリームの使用

・導管内がきれいか確認してください。
・据え付ける前に導管にクリームを塗ってください。
・手、または道具を使用してケーブルにクリームを塗ってください。

⚠ 注意

・クリームがこぼれたら滑りやすくなりますので、すぐ拭き取り砂などをまいてください。
・活線に塗らないでください。ついてしまったら通電させる前に良く乾かしてください。
・本来の目的以外に使用しないでください。
・目に入らないように注意してください。

株式会社　エスコ
本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀3－8－14
TEL (06) 6532-6226　FAX (06) 6541-0929